



## 卒業文集の記憶

教頭 永吉康弘

令和7年度も残すところあと1ヶ月あまりとなり、今の学年を締めくくる段階に入りました。1～5年生は進級して新しい学年を迎えるための、6年生は卒業して中学生になるための準備に余念がありません。

ところで、卒業に向けた準備の1つに、「卒業文集の作製」があります。本校の6年生13名も鋭意作製中ですが、卒業文集は、子どもたちの成長の記録であり、かけがえのない思い出を形に残す大切な記念品です。未来を考えるきっかけや、表現力を養う機会にもなります。

ちなみに、私の小学生時代の卒業文集の記憶といえば、将来の夢に「高校の社会の先生になって、監督として甲子園に行く」と書いたことです。小学5年生から野球をしていた私にとっても甲子園は憧れの場所だったのですが、普通の小学生であれば、「甲子園に出場してプロ野球選手になる」などと書くものでしょう。自分の能力ではプロどころか、甲子園大会にすら出場することはできないといち早く見切りをつけるような、少し醒めた小学生だったのかもかもしれません。

さて、そこからの私ですが、中学・高校・大学と、大好きな野球は最後まで続けました。ただし、40年の間にいくつもの転機がありました。最初の転機は大学受験です。社会（歴史）の先生になりたいと思っていた高校生の私は、決して社会が嫌いになったわけではないのですが、高校時代の恩師の「鶴の一声」により、教員養成課程の国語科を受験し、大学に進学します。この段階で「社会の先生になる」という夢は潰れました。2つ目の転機は教員採用試験です。高校の先生になりたいと思って受験した大学生の私の願いは叶わず、中学校教諭として採用されました。この段階で、「高校野球の監督になる」という夢も潰れました。就職後、部活動の顧問として野球に携わることはできたのですが、私の部活動顧問歴24年のうち、野球部の顧問ができたのはわずか3分の1の8年間です。その間、地区大会を突破して、県大会に出場したことは何度かありましたが、全国大会どころか九州大会にさえ出場は叶いませんでした。教諭時代の残り3分の2は陸上・バスケットボール・バレーボール・ソフトテニスと、野球以外のスポーツの顧問を務めていました。そして、3つ目の転機は、中学校で24年間勤務していた私が、3年前に伊集院北小学校に赴任したことです。50歳を目前にした私は、ついに部活動の顧問ですらなくなってしまいました。

小学校の卒業アルバムに将来の夢を記してから40年後の私は、高校の先生でもなく、野球部の監督でもなく、当然甲子園のベンチに入ったこともありません。では、私の人生は、夢破れた寂しい人生だったのかというと、決してそうでもありません。学生時代に野球を続けたことで、かけがえのない仲間、親友と呼べる存在に出会うことができました。野球以外の部活動の顧問を務めることは、確かに大変な面もありましたが、汗を流し、歯を食いしばる教え子たちの姿から、それぞれの競技の魅力を教わった今の私の趣味は「スポーツ観戦」です。中学校でしか働いたことのない私が小学校で働くことには不安がありましたが、この3年間、北小のかわいらしい子どもたちの、たくさんの笑顔に癒され、本当に楽しい毎日を送っています。

夢をもつことは、日々の行動や決断に目的を与え、モチベーションを高める効果があります。明確な夢をもつことで、目標達成に向けた計画を立てやすくなり、日常生活においても積極的に行動することができるようになります。私のように、40年後、夢とはかけ離れた道を歩むことになっているかもしれませんが、それも「人間万事塞翁が馬」で、卒業文集に書いた夢があったからこそ今の自分があると思う今日この頃です。



春風や 闘志いだきて 丘に立つ (高浜虚子)

## あいさつリーダー決定

本校には「あいさつリーダー」という役割があり、集会や学校行事で、全校児童を代表してあいさつする役目を担います。あいさつリーダーは、日々の学校生活の中で、最も気持ちのいいあいさつを行っている児童を選ぶコンテストで決まり、全ての児童・職員が投票します。

今年のあいさつリーダーは、今村幸豊さん（5年生）です。また、幸豊さんをサポートする各学年のメンバーは、白澤希湖さん（1年生）、新屋敷愛鈴菜さん（2年生）、遠藤心莉さん（3年生）、小林琉稀さん（4年生）に決まりました。この5人を中心に、「日置一、明るく元気なあいさつができる学校」をこれからも目指していきましょう。



## 子育て講演会・新入生説明会

2月3日（火）に、子育て講演会と新入生説明会を行いました。保護者の皆さんには、まず子育て講演会に参加していただきました。社会教育課の諏訪賢士先生に来ていただき、「子どもの幸せ、わたしの幸せ～お子さんの入学を前に～」と題して、講演をしていただきました。先生の子育て経験も踏まえた、入学に向けての心構えについての内容でしたが、笑い声の絶えない、和やかな雰囲気での進みました。



令和8年度の入学予定者は、現時点で17名です（特認校制度利用者1名含む）。日置市内外の保育園や幼稚園から集まってくる小さな仲間たちは「入学」して、また一つ社会が広がります。保護者の皆さんの知らないところで自分の判断や行動が試されるため、不安等もあるかと思えます。在校生には、新しく入ってくる17名の新しい仲間を優しく迎えてほしいものです。

なお、令和8年度の入学式は4月9日（木）の14時からの予定です。

## みんな頑張ってます

◇第73回南九州美術展

【書道（硬筆）の部】

入選 内 結依香（1年生） 久保 誠空（2年生）

【書道（半紙）の部】

特選 久富木 歌（4年生） 今村 侑笑（4年生）

入選 比良音乃花（3年生） 田島 優朱（5年生）

上野 壮史（4年生）

【版画の部】

特別賞「鹿児島県知事賞」 馬場 来夢（5年生）

特選 田島 優朱（5年生）

入選 船蔵 叶多（2年生） 作下 詩歩（3年生）



## 3月の行事予定

《2～23日の期間はB校時です》

11日(火)	巡回文庫	24日(火)	卒業式（4～6年生）
14日(土)	土曜授業 集団下校	25日(水)	修了式 辞・離任式《11時15分》
17日(火)	卒業式予行		※下校予定時刻12時

※26日(木)～4月7日(火) 年度末・年度始め休業(春休み)  
予定は変更になる場合があります。週報等でご確認ください

先月の本校におけるいじめ認知件数は1件でした。子どもたちの様子で気になる点がありましたら、学校へお知らせください。